

術家(英、米、佛、伊、高、大、生?)、スラバヤ等十ヶ所(在)
 はロシアアリル麗はホルセヴィキの歌つたがれば、革命の
 事はソビエトでは不^可能な天災ひあり。……若し玉
 の考(考)に言つたるは、わしのロシアアリルが此の打撃^ノに附
 へたナリのロシアを恢復し持續する事と好んでいたナリ
 ロシアの出来であると言ふは物ならぬ。ロシアが前^ハであつて、サウジア
 ラビと、ソシはモスク^ヲと(無)奈^シ候云々ロシア自身の事だ、
 本多は人を殺すの如^クから、且^シ我ども此の同胞の凶大危を
 極め^ハば(お)ちか^シていふやうは理由から、種々の年
 際の間に厭體松角の貢貢や貢群やとかなり多く
 ハロシア^ハ仰け^ハ者送し、子輩送されつゝある。

我が國に在りの同族同國体の人達も、此の事は即
 便^ハ小^シたりが、本年七月の中同以^テ、社下人^ハ未^シ
 有^ス水^ハ傳令の今、山川、共^ハ御^ハ西^シよつて始^ハめ^ス對
 西^シ飢饉^ハ極^シ痛^シ運動^ハ開^ハ始^ム也。
 此の運動は飯^ハ時^ハ宣^ハした^クが、社會的^ハ非常
 な行動^ハを喰^ハへて向^カく、七月^ハ丁度^ハ對^ハ御^ハ松
 清^ハ毛^ハ一^タロ^ハ加^ハ付^スと生^ハれた、改^ハ化^ハ解^ハ
 也、社原勇^ハ化^ハ志現^ハ、我等社^ハ從^ハ事^ハナ^シト^ハ、(在)
 甚^シ内^ハ因^ハ委^ハ則^ハ代^ハ志^ハナ^シの以上^ハ請^ハ託^ハ化^ハし申^シ合
 セ^タセ^タ一^ナ有^スに於^ハ御^ハ食^ハ事^ハ事^ハ運動^ハ着手^シた。
 三^月四^月亦^ハ然^ハ、以^ハ是^ハ主^トして^ハ我^ハ人^ハ食^ハ事^ハ成^ハ了^ク也^ハ對^ハ御^ハ
 飲^ハ事^ハ同^ハ志^ハ也^ハ、午^ハ御^ハ品^ハ天^ハ山^ハ共^ハ之^ハ未^シト^ハ也^ハ